

千葉市感染症発生動向調査情報

2026年 第30週 (7/20-7/26)

1 定点把握対象感染症(五類感染症の一部)

定点	報告定点医療機関数			
	第30週	第29週	第28週	第27週
小児科	15	15	15	15
ARI(急性呼吸器感染症)	25	25	25	25
眼科	5	5	5	5
基幹	1	1	1	1

上段:報告患者数、下段:定点当たりの報告数

定点当たりの報告数:報告患者数件/報告定点医療機関数

定点	感染症	発生動向	7/20-7/26 第30週	7/13-7/19 第29週	7/6-7/12 第28週	6/29-7/5 第27週
小児科	RSウイルス感染症		3 0.20	5 0.33	2 0.13	2 0.13
	咽頭結膜熱		4 0.27	1 0.07	0 0.00	2 0.13
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	13 0.87	19 1.27	26 1.73	23 1.53
	感染性胃腸炎		48 3.20	46 3.07	60 4.00	65 4.33
	水痘		5 0.33	2 0.13	6 0.40	4 0.27
	手足口病	★★★↓	219 14.60	301 20.07	300 20.00	261 17.40
	伝染性紅斑		3 0.20	1 0.07	2 0.13	1 0.07
	突発性発しん		7 0.47	9 0.60	5 0.33	9 0.60
	ヘルパンギーナ	↓	33 2.20	54 3.60	33 2.20	45 3.00
	流行性耳下腺炎		1 0.07	0 0.00	2 0.13	1 0.07
	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)	↑	31 1.24	8 0.32	8 0.32	6 0.24
ARI	新型コロナウイルス感染症		14 0.56	20 0.80	8 0.32	4 0.16
	急性呼吸器感染症	↓	1,145 45.80	1,379 55.16	1,453 58.12	1,388 55.52
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	流行性角結膜炎		0 0.00	0 0.00	3 0.60	0 0.00
基幹	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 2.00
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	インフルエンザ入院		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	新型コロナウイルス感染症入院	↑	3 3.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00

※「発生動向」欄のマークについて

<流行状況>

★★:「警報レベル」流行発生警報開始基準値以上(終息基準値を下回るまで継続表示)

★:「注意報レベル」流行発生注意報基準値以上

※警報レベル・注意報レベルについては、市感染症情報センターWebSiteの「警報・注意報の解説」のページをご覧ください。

<増減>:マークの対象は当該週又は前週の定点当たりの報告数が1.00以上

↑・↓:「増加・減少」定点当たりの報告数が前週より5%を超えた増加または減少

2 全数報告対象感染症 8 件

感染症		性別	年齢層	感染症	性別	年齢層
結核	無症状病原体保有者	女	20歳代	クロイツフェルト・ヤコブ病	男	70歳代
	患者	男	30歳代	水痘(入院例)	男	20歳代
	患者	女	40歳代	梅毒	女	10歳代
急性脳炎		女	60歳代	百日咳	女	10歳代

結核3件(76)、急性脳炎1件(8)、クロイツフェルト・ヤコブ病1件(8)、水痘(入院例)1件(6)、梅毒1件(21)、百日咳1件(49)の発生届出があった。

※ ()内は2026年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

3 定点当たり報告数のコメント

<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

前週より減少し、0.87となった。

<感染性胃腸炎>

前週からほぼ変化なく3.20となった。年齢階級別の報告数は1歳が最多。

<手足口病>

前週より減少し14.6となった。過去5年の同時期と比べ2024年に次いで多く、流行発生警報開始基準値(5.0)を上回ったまま。年齢階級別の報告数は1歳が最多。

<ヘルパンギーナ>

前週より減少し、2.20となった。年齢階級別の報告数は1歳が最多。

<インフルエンザ>

前週より増加し、1.24となり、流行開始の目安とされる1.0を上回った。年代別の報告数は10歳代が最も多く、10歳未満では9歳が最多。

<急性呼吸器感染症>

前週より減少し45.80となった。年代別の報告数は10歳未満(合計)が最も多く、そのうち1-4歳が多かった。

<新型コロナウイルス感染症(入院)>

前週より増加し、3.00となった。

■ 各感染症のグラフ、インフルエンザ発生状況は、市感染症情報センターWebSiteでご覧いただけます。

・感染症発生グラフ

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph2026.pdf>

・インフルエンザ発生状況

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/influ2026.pdf>

■ トピック ■

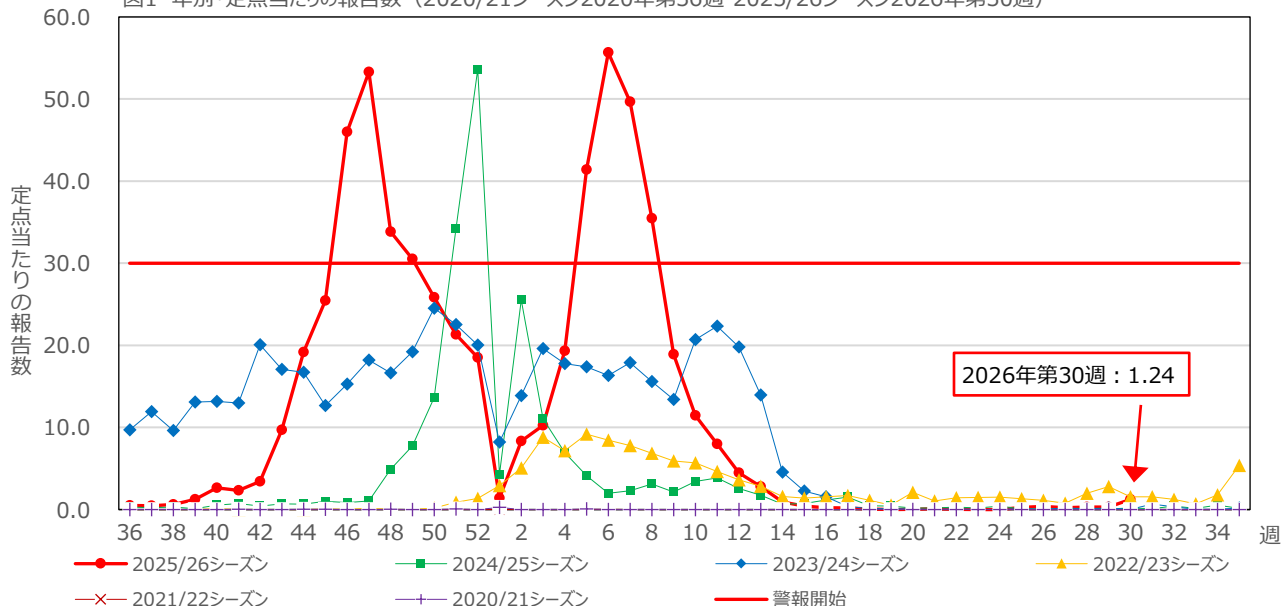
<インフルエンザ>

全国の第29週時点の定点当たりの報告数は0.20で、過去5年の同時期と比べると2024年の0.37、2025年の0.30に次いで多くなっています。都道府県別では、沖縄県が0.86と最も多く、次いで青森県が0.83、山形県が0.82の順となっています。千葉県は0.27で、全国と比べると多くなっています。

インフルエンザは例年第36週から翌年の第35週までを1シーズンとしています。

千葉市の2025/26シーズンは、2025年第47週(53.31)及び2026年第6週(55.65)の2回のピークを迎えた後減少し、低い水準で推移していましたが、次シーズン前の第25週から報告が出始め、第30週は前週より増加し1.24となり、流行開始の目安とされる1.0を上回りました(図1)。

図1 年別・定点当たりの報告数(2020/21シーズン2020年第36週-2025/26シーズン2026年第30週)



第30週の患者報告数は31件であり、年齢群別では5-9歳が13件(41.9%)と最多で、次いで10-14歳が7件(22.6%)、40-49歳が5件(16.1%)の順でした。また、定点医療機関の協力による型別迅速診断結果は、A型が27件、B型が1件、未実施が3件でした。

例年と比べ、流行開始の目安とされる1.0を上回る時期が早いことから、今後の発生動向に注意する必要があります。

インフルエンザをはじめとする急性呼吸器感染症(ARI)等の予防には、「換気」「手洗い・手指消毒」「咳(せき)エチケット」が有効です。インフルエンザは主に冬季に流行しますが、夏季でも締め切った空間などでは感染リスクが高まります。一般の家庭用エアコンは空気を循環させるだけで換気を行っていません。高温多湿の夏場においては、エアコンによる熱中症対策を優先しつつ、外気温の低い朝や夕方以降などに窓開けを行い、換気時間を多く取るなど、室温を上げずに適切な換気を行うことを推奨します。

また、高齢者や基礎疾患のある方が感染すると、重症化するリスクが高まります。高齢者と会ったり、通院や大人数で集まったりするときは、咳エチケットを念頭に置いた感染症対策へのご協力をお願いします。

詳細は、下記のリンク先を参照してください。

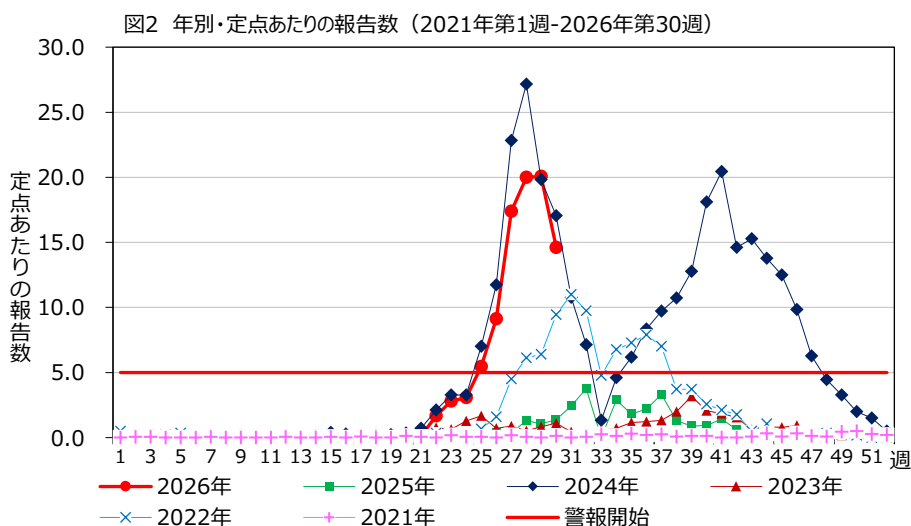
「夏の感染症対策(厚生労働省)」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/kansentaisaku_summer.html

<手足口病>

第30週は前週より減少し14.60となりましたが、流行発生警報開始基準値(5.0)を上回ったままとなっています。過去5年の同時期と比べ2024年(17.06)に次いで多くなっています(図2)。

感染経路は、主として糞口感染を含む接触感染と飛沫感染です。感染者との濃厚な接触を避け、回復後もウイルスの排出がしばらく持続することがあるため、手指の消毒の励行と排泄物の適正な処理、またタオル、ハンカチや遊具(おもちゃ等)を共有しない等の感染予防対策が重要です。



「手足口病にご注意ください(千葉市)」

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoisei/kenkokikikanri/hfmd.html>

※ 感染症発生動向調査とは、感染症の発生情報の正確な把握と分析、その結果の国民や医療機関への迅速な提供・公開により、感染症に対する有効かつ確かな予防・診断・治療に係る対策を図り、多様な感染症の発生及びまん延を防止することを目的としています。

<参考> 千葉県感染症情報センター

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/index.html>